

## 開かれた学校づくりをめざして

### I 研究の内容

#### 1 研究の方法

##### (1) 研究の柱

- ・学校と地域・保護者との関わり方・連携の方策について
- ・学校・子どもたちが地域の人々や保護者とのつながりを生み出す実践
- ・研究の成果の共有（情報の発信も視野に入れながら）

(2) 各部員が、各校の実践（子どもたちの変容の様子、問題点、悩み等）を報告し、それについて情報交換・協議し、研究を深める。夏季学習会では講師を招き理論研究を行う。常任講師の先生方に、常時ご助言・ご指導をいただく。

(3) 保護者・地域との連携について授業実践を通して研究を深める。

#### 2 実践発表と授業研究

##### (1) 神金小「保護者・地域住民と関わりのある行事・活動」の実践発表

- ・菜の花プロジェクト、かみかねキッズおはなし会、4年生の総合的な学習の時間「大豆を育てよう」の取り組み等の発表

##### (2) 東雲小「保護者・地域住民と提携した取り組み」の実践発表

- ・生活科における提携、おまつり広場、東雲祭の取り組み等の発表

##### (3) 夏季学習会…授業案検討・理論研究・臨地研修

- ・理論研究 「学校と保護者・地域住民との連携について」  
講師 長田 義己さん
- ・臨地研修…「宮光園」「メルシャン勝沼ワイナリー」視察

##### (4) 授業研究 第1学年 生活科「昔の遊びを覚えてもらおう」

竹川 由美子先生 （三富小学校）

ねらい……○地域の高齢者から昔の遊びを教わり、楽しく遊ぶことができる。

○昔からの遊びにはいろいろなものがあることを知り、昔遊びに興味・関心を持つ。

授業の流れ…全員で「じんとり」をする。グループに分かれていろいろな遊び（お手玉・あやとり・きしゃごとり・石けり）に挑戦する。感想を発表し合う。

児童の様子…児童は、地域の高齢者から昔の遊びを覚えてもらいながら、楽しく遊んでいた。昔の遊びに興味を持ち、意欲的に活動していた。

##### (5) 加納岩小 「保護者・地域住民を巻き込んでの取り組み」の実践発表

- ・有価物回収、花作り、地域のお年寄りとの交流の発表等

##### (6) 岩手小 「地域や学習支援ボランティアの取り組み」の実践発表

- ・絵画等の学習ボランティア、教科・特別活動への協力、岩手小太鼓等の発表

##### (7) 勝沼小「保護者・地域と提携した取り組み」の実践発表

- ・学習支援ボランティア、保育園との連携、地域の施設を利用した取り組み等の発表

- (8) 後屋敷小「保護者・地域と提携した取り組み」の実践発表  
・PTA活動，教科・総合的な学習での関わり等の発表

(9) 授業研究 第4学年 社会科 「昔の暮らし」

吉岡 美奈子先生 (玉宮小学校)

ねらい……○玉宮の祭りについて詳しく知ろうという意欲をもつ。

○どんど焼きの内容やいわれ，どんど焼きにこめられた人々の願いに気づく。

授業の流れ…どんど焼きの組ごとの様子を発表し合い，どんど焼きの内容やいわれ等を明らかにしていく。地域在住の講師の話ビデオで聞き，どんど焼きにこめられた人々の願いを理解する。

児童の様子…児童は，自分が調べたことを分かりやすく発表したり，友だちの発表を聞き，分かったことをメモしたりしながら意欲的に学習していた。講師の話をもとに，地域の人たちの願いについて考えることができた。

## II 成果と課題

### 1 成果として

- 授業研究を通して，保護者や地域住民との連携によって授業内容や子どもたちの興味・関心が深まることを実感した。そのためにも，日頃から保護者や地域住民とのつながりを強くしておくことが重要であることが分かった。
- 授業での連携では，打ち合わせを密にしたことで，ゲストティーチャーや講師に授業の意図をしっかりと理解したうえで協力してもらうことができ，ねらいの達成につながった。
- 一部の特殊な技能を持った人だけでなく，保護者や地域住民が子どもたちを育てていると実感することができた。
- 学校，保護者・地域住民の相互に成果があるような提携が重要であることが分かった。
- それぞれの学校の特色を生かした実践発表から学ぶことが多く，自校の活動に生かすことができた。また，提携の方法等についての視点も広がった。
- 夏季学習会の講師を招いての理論研究は大変参考になった。臨地研修は，地域を学ぶ良い機会となった。

### 2 課題として

- 保護者や地域住民が関心を持って子どもたちの教育に関われるような環境づくりをすること，日々の教育活動の中で継続した交流を図っていくことが大切である。
- 保護者や地域住民との提携を継続していくためには，教育課程への位置づけが必要。また，内容を精選することも大切ではないか。
- 教師も地域にある素材に目を向け，体験的に学習していくことが大切。それによって，地域素材の価値や意味を再認識することができ，子どもたちの教育に生かしていくことができる。
- 参加校を増やし，さらに情報交換を深めたい。

## III 成果物

- 学習指導案2本・学習ワークシート ○各校の実践レポート ○理論研究資料  
(部長 村田 裕美)